



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社ダイヘン 上場取引所 東・福
 コード番号 6622 URL <https://www.daihen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓑毛 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部経理部長 (氏名) 小澤 茂夫 (TEL) 06-6390-5506
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	145,144	0.1	12,183	34.4	13,762	47.1	9,411	41.1
2020年3月期	145,044	1.1	9,065	8.3	9,356	7.3	6,672	8.2

(注) 包括利益 2021年3月期 13,703百万円(166.6%) 2020年3月期 5,140百万円(53.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	381.28	—	11.0	8.2	8.4
2020年3月期	269.06	—	8.5	5.7	6.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 807百万円 2020年3月期 149百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	175,132	96,921	52.1	3,693.68
2020年3月期	162,327	85,344	49.3	3,236.50

(参考) 自己資本 2021年3月期 91,174百万円 2020年3月期 79,964百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	13,937	△3,899	△5,576	19,071
2020年3月期	17,057	△4,318	△10,702	14,830

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	45.00	—	40.00	85.00	2,111	31.6	2.7
2021年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00	2,228	23.6	2.6
2022年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		26.0	

(注) 2020年3月期中間配当金の内訳 記念配当 5円00銭 特別配当 一円一銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	14.2	5,500	49.4	5,700	17.9	4,000	27.8	162.05
通期	155,000	6.8	13,200	8.3	13,800	0.3	9,500	0.9	384.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(注) 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動には該当いたしません。が、連結子会社でありましたダイヘン物流株式会社は、2021年3月30日付で清算終了したことにより連結の範囲から除外しております。但し、清算終了までの損益計算書は連結しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	27,103,291株	2020年3月期	27,103,291株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	2,419,521株	2020年3月期	2,396,287株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	24,683,643株	2020年3月期	24,797,814株
----------	-------------	----------	-------------

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	105,641	4.3	6,877	58.1	9,122	72.5	6,723	61.7
2020年3月期	101,267	0.2	4,349	95.6	5,289	52.4	4,157	46.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	271.52	—
2020年3月期	167.12	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	116,080	48,933	42.2	1,976.17
2020年3月期	107,967	42,118	39.0	1,699.36

(参考) 自己資本 2021年3月期 48,933百万円 2020年3月期 42,118百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

売上高の増加は半導体関連機器の需要拡大が主な要因であり、これに伴い営業利益、経常利益、当期純利益においても前事業年度と比べ増加しました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のダイヘングループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により厳しい状況となりましたが、半導体関連投資が堅調に推移したことに加え、年度後半には自動車関連の設備投資も回復傾向となりました。その結果、売上高は1,451億4千4百万円（前期比0.1%増）と前期に比べ微増となり、利益面におきましては、「ロスカット活動」による材料費低減や生産性向上の成果拡大により、営業利益は121億8千3百万円（前期比31億1千7百万円増）となりました。また、経常利益は、持分法適用会社での土地売却益の計上もあり137億6千2百万円（前期比44億6百万円増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、94億1千1百万円（前期比27億3千9百万円増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

① 電力機器事業

国内での配電機器の更新需要は底堅く推移しましたが、コロナ禍の影響による東南アジアでの大形変圧器の据付工事先送りなどにより、売上高は658億4千2百万円（前期比4.3%減）となりました。営業利益につきましては、コスト削減などにより67億4千9百万円（前期比5億1千5百万円増）となりました。

② 溶接メカトロ事業

中国では経済の正常化がいち早く進み産業用ロボットの需要が増加いたしました。また、その他の地域でも期末にかけて自動車関連投資が回復傾向となりました。しかしながら、年度前半での設備投資停滞の影響が大きく、売上高は421億7百万円（前期比7.1%減）となり、営業利益は38億1千2百万円（前期比1億9千8百万円減）となりました。

③ 半導体関連機器事業

次世代通信規格5Gのインフラ整備に伴い様々な半導体関連投資が堅調に推移いたしました結果、売上高は370億2千7百万円（前期比20.3%増）となり、営業利益は61億8千1百万円（前期比29億9百万円増）となりました。

④ その他

売上高は1億9千7百万円、営業利益は6千8百万円となり、前期からの大きな変動はありません。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高		受注残高		売上高		営業利益	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
電力機器事業	66,450	△2.5%	33,676	+1.8%	65,842	△4.3%	6,749	+8.3%
溶接メカトロ事業	43,073	△2.9%	4,852	+25.9%	42,107	△7.1%	3,812	△5.0%
半導体関連機器事業	37,927	+12.0%	11,173	+8.8%	37,027	+20.3%	6,181	+88.9%
その他	197	△1.6%	—	—	197	△1.6%	68	+8.6%
全社計	147,650	+0.7%	49,702	+5.3%	145,144	+0.1%	12,183	+34.4%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、現金及び預金の増加に加え、株式相場の上昇に伴う投資有価証券の増加もあり、1,751億3千2百万円（前連結会計年度末比128億4百万円増）となりました。

負債合計は、借入金が増加する一方、支払手形及び買掛金や繰延税金負債の増加などにより782億1千1百万円（前連結会計年度末比12億2千8百万円増）となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金や退職給付に係る調整累計額の増加もあり、969億2千1百万円（前連結会計年度末比115億7千6百万円増）となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の49.3%から2.8ポイント増加して52.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、42億4千万円増加し、190億7千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益等により、139億3千7百万円の資金の増加となり、前連結会計年度に比べると、売上債権の増加やたな卸資産の減少額の縮小等により、31億1千9百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により、38億9千9百万円の資金の減少となり、前連結会計年度に比べると、子会社出資金の払込による支出の減少等により、4億1千8百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出等により、55億7千6百万円の資金の減少となり、前連結会計年度に比べると、短期借入金の減少額の縮小等により、51億2千6百万円の増加となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	46.1	45.7	46.2	49.3	52.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	59.9	61.1	46.0	44.2	68.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.8	5.6	19.6	2.0	2.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	40.0	25.2	11.2	68.2	71.4

(注) 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、半導体関連投資の更なる増加や経済正常化に伴う設備投資の回復が期待される一方、新型コロナウイルスや素材価格高騰の影響など不透明感があります。このような状況の下、引き続き「ロスカット活動」による生産性向上・コスト水準の引き下げを実現し、社会的課題の解決に資する開発、「Green & Gentle開発」への投資に振り向けていくことにより、各事業の強化、業績の向上に努めてまいり所存でございます。

なお、現時点での2022年3月期の連結業績の見通しは次のとおりであります。

売上高	155,000百万円（前期比 6.8%増）
営業利益	13,200百万円（前期比 8.3%増）
経常利益	13,800百万円（前期比 0.3%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	9,500百万円（前期比 0.9%増）

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、ステークホルダーへの利益還元方針を定めており、配当につきましては3年平均利益に対する配当性向30%を目標としております。

当期の配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり年間配当金を90円（1株当たり期末配当金47.5円）とさせていただきます。予定であります。

また、次期の配当予想額につきましては1株当たりの年間配当金を100円とし、そのうち50円を中間配当金、50円を期末配当金とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,019	19,261
受取手形及び売掛金	38,349	40,949
商品及び製品	14,883	15,673
仕掛品	9,886	9,912
原材料及び貯蔵品	17,326	16,196
その他	3,108	3,872
貸倒引当金	△49	△574
流動資産合計	98,525	105,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,506	46,939
減価償却累計額	△25,708	△26,846
建物及び構築物（純額）	19,797	20,092
機械装置及び運搬具	42,003	42,440
減価償却累計額	△34,985	△35,961
機械装置及び運搬具（純額）	7,017	6,478
工具、器具及び備品	12,611	13,214
減価償却累計額	△10,762	△11,359
工具、器具及び備品（純額）	1,848	1,855
土地	8,783	8,802
リース資産	1,396	1,339
減価償却累計額	△901	△946
リース資産（純額）	494	392
建設仮勘定	2,075	1,148
有形固定資産合計	40,017	38,771
無形固定資産		
ソフトウェア	1,712	1,621
リース資産	49	30
その他	251	232
無形固定資産合計	2,014	1,883
投資その他の資産		
投資有価証券	13,530	17,651
出資金	929	921
長期前払費用	169	107
退職給付に係る資産	5,480	8,879
繰延税金資産	1,150	1,115
その他	608	592
貸倒引当金	△97	△81
投資その他の資産合計	21,771	29,186
固定資産合計	63,802	69,841
資産合計	162,327	175,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,856	29,632
短期借入金	6,910	6,085
1年内返済予定の長期借入金	3,784	4,084
リース債務	181	141
未払法人税等	1,820	2,736
賞与引当金	2,871	3,601
役員賞与引当金	90	100
工事損失引当金	56	79
その他	6,430	6,121
流動負債合計	50,001	52,583
固定負債		
長期借入金	21,754	19,170
リース債務	295	195
繰延税金負債	959	2,340
役員退職慰労引当金	51	62
耐震工事関連費用引当金	706	669
製品安全対策引当金	43	18
退職給付に係る負債	1,951	1,950
資産除去債務	74	74
その他	1,145	1,147
固定負債合計	26,982	25,628
負債合計	76,983	78,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,016	10,023
利益剰余金	59,628	66,995
自己株式	△4,123	△4,195
株主資本合計	76,117	83,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,987	5,255
繰延ヘッジ損益	6	△12
為替換算調整勘定	1,704	1,146
退職給付に係る調整累計額	△851	1,364
その他の包括利益累計額合計	3,846	7,753
非支配株主持分	5,380	5,747
純資産合計	85,344	96,921
負債純資産合計	162,327	175,132

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	145,044	145,144
売上原価	100,022	98,298
売上総利益	45,021	46,845
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	5,633	5,428
旅費交通費及び通信費	1,145	659
給料手当及び福利費	10,907	10,582
賞与引当金繰入額	1,579	1,976
役員賞与引当金繰入額	90	100
役員退職慰労引当金繰入額	13	13
退職給付費用	492	611
減価償却費	1,438	1,377
研究開発費	4,608	4,777
その他	10,046	9,135
販売費及び一般管理費合計	35,956	34,662
営業利益	9,065	12,183
営業外収益		
受取利息	83	63
受取配当金	264	240
持分法による投資利益	149	807
為替差益	—	257
受取地代家賃	83	123
作業くず売却益	206	154
技術指導料	42	47
その他	407	596
営業外収益合計	1,238	2,291
営業外費用		
支払利息	246	194
為替差損	86	—
売上割引	157	129
固定資産除却損	14	6
事業構造改善費用	—	72
損害賠償金	108	—
その他	334	309
営業外費用合計	947	712
経常利益	9,356	13,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	171	—
投資有価証券売却益	37	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	521
製品事故対策費用	—	115
投資有価証券評価損	79	—
減損損失	79	—
投資有価証券売却損	34	—
特別損失合計	194	636
税金等調整前当期純利益	9,370	13,125
法人税、住民税及び事業税	2,739	3,987
法人税等調整額	△180	△495
法人税等合計	2,559	3,491
当期純利益	6,810	9,634
非支配株主に帰属する当期純利益	138	222
親会社株主に帰属する当期純利益	6,672	9,411

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	6,810	9,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△580	2,270
繰延ヘッジ損益	6	△19
為替換算調整勘定	170	△552
退職給付に係る調整額	△1,162	2,301
持分法適用会社に対する持分相当額	△104	69
その他の包括利益合計	△1,670	4,069
包括利益	5,140	13,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,087	13,318
非支配株主に係る包括利益	53	384

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,596	10,009	55,062	△3,861	71,807
当期変動額					
剰余金の配当			△2,115		△2,115
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,672		6,672
自己株式の取得				△269	△269
自己株式の処分		6		7	14
連結範囲の変動			8		8
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6	4,565	△261	4,310
当期末残高	10,596	10,016	59,628	△4,123	76,117

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,657	0	1,644	248	5,551	5,345	82,703
当期変動額							
剰余金の配当							△2,115
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,672
自己株式の取得							△269
自己株式の処分							14
連結範囲の変動							8
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△670	6	59	△1,100	△1,704	34	△1,669
当期変動額合計	△670	6	59	△1,100	△1,704	34	2,640
当期末残高	2,987	6	1,704	△851	3,846	5,380	85,344

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,596	10,016	59,628	△4,123	76,117
当期変動額					
剰余金の配当			△2,043		△2,043
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,411		9,411
自己株式の取得				△79	△79
自己株式の処分		7		6	14
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7	7,367	△72	7,302
当期末残高	10,596	10,023	66,995	△4,195	83,420

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,987	6	1,704	△851	3,846	5,380	85,344
当期変動額							
剰余金の配当							△2,043
親会社株主に帰属する 当期純利益							9,411
自己株式の取得							△79
自己株式の処分							14
連結範囲の変動							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,268	△19	△558	2,215	3,906	367	4,273
当期変動額合計	2,268	△19	△558	2,215	3,906	367	11,576
当期末残高	5,255	△12	1,146	1,364	7,753	5,747	96,921

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,370	13,125
減価償却費	5,538	5,121
減損損失	79	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	521
賞与引当金の増減額 (△は減少)	498	730
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△20	23
耐震工事関連費用引当金の増減額 (△は減少)	△13	△37
製品安全対策引当金の増減額 (△は減少)	12	△24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	180	△11
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△470	△143
受取利息及び受取配当金	△348	△304
支払利息	246	194
持分法による投資損益 (△は益)	△149	△807
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	—
固定資産売却損益 (△は益)	△171	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	79	—
製品事故対策費用	—	115
損害賠償金	108	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△28	△2,600
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,036	314
仕入債務の増減額 (△は減少)	△690	1,876
その他	4	△1,189
小計	19,260	16,904
利息及び配当金の受取額	347	307
利息の支払額	△250	△195
損害賠償金の支払額	△108	—
法人税等の支払額	△2,192	△3,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,057	13,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	0	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	—	△389
有形固定資産の取得による支出	△3,708	△3,258
有形固定資産の売却による収入	428	119
無形固定資産の取得による支出	△430	△364
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
投資有価証券の売却による収入	134	—
子会社出資金の払込による支出	△700	—
出資金の回収による収入	6	11
その他	△42	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,318	△3,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,636	△877
長期借入れによる収入	5,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△4,433	△3,784
リース債務の返済による支出	△232	△275
自己株式の取得による支出	△269	△79
配当金の支払額	△2,111	△2,041
その他	△17	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,702	△5,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,990	4,240
現金及び現金同等物の期首残高	12,403	14,830
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	437	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,830	19,071

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業部制を採用し、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、これらの事業セグメントを、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性を勘案して集約し、「電力機器事業」、「溶接メカトロ事業」及び「半導体関連機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

「電力機器事業」は、各種変圧器、受変電設備、開閉器、制御通信機器、分散電源機器等の製造販売をしております。「溶接メカトロ事業」は、電気溶接機、プラズマ切断機、産業用ロボット、ワイヤレス給電システム機器等の製造販売をしております。「半導体関連機器事業」は、プラズマ発生用電源、クリーン搬送ロボット等の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,812	45,251	30,780	144,843	200	145,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	73	—	73	—	73
計	68,812	45,324	30,780	144,916	200	145,117
セグメント利益	6,234	4,011	3,271	13,517	63	13,580
セグメント資産	64,344	50,087	25,209	139,641	1,308	140,949
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	2,393	1,490	846	4,730	26	4,756
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	1,499	975	510	2,985	1	2,987

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2 減価償却費には、長期前払費用の償却費を含んでおります。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,842	42,076	37,027	144,946	197	145,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	—	30	—	30
計	65,842	42,107	37,027	144,977	197	145,175
セグメント利益	6,749	3,812	6,181	16,742	68	16,811
セグメント資産	66,721	53,613	25,175	145,511	1,280	146,791
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	2,095	1,369	777	4,242	27	4,270
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	2,013	816	423	3,253	12	3,266

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2 減価償却費には、長期前払費用の償却費を含んでおります。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	144,916	144,977
「その他」の区分の売上高	200	197
セグメント間取引消去	△73	△30
連結財務諸表の売上高	145,044	145,144

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,517	16,742
「その他」の区分の利益	63	68
セグメント間取引消去	0	0
全社費用(注)	△4,515	△4,628
連結財務諸表の営業利益	9,065	12,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	139,641	145,511
「その他」の区分の資産	1,308	1,280
全社資産(注)	21,695	28,665
その他の調整額	△317	△325
連結財務諸表の資産合計	162,327	175,132

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地、建物及び提出会社での長期投資資金(投資有価証券)等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	4,730	4,242	26	27	781	851	5,538	5,121
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,985	3,253	1	12	504	701	3,491	3,967

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社共通の耐震補強工事や情報システム関連への投資額等であります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	その他の地域	合計
113,134	4,003	23,742	4,163	145,044

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	アジア		その他の地域	合計
			内、タイ		
33,831	216	4,984	2,954	985	40,017

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東京エレクトロン宮城(株)	20,243	半導体関連機器事業
関西電力(株)	15,722	電力機器事業

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	その他の地域	合計
114,783	2,969	23,241	4,150	145,144

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	アジア		その他の地域	合計
			内、タイ		
33,069	196	4,549	2,572	956	38,771

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東京エレクトロン宮城(株)	25,840	半導体関連機器事業
関西電力(株) (注)	17,810	電力機器事業

(注) 関西電力(株)には、同一企業集団に属する関西電力送配電(株)への売上高を集約して記載しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	電力機器事業	溶接メカトロ事業	半導体関連機器事業	計			
減損損失	79	—	—	79	—	—	79

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,236.50円	3,693.68円
1株当たり当期純利益	269.06円	381.28円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,672	9,411
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	6,672	9,411
普通株式の期中平均株式数(株)	24,797,814	24,683,643

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	85,344	96,921
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	5,380	5,747
(うち非支配株主持分(百万円))	(5,380)	(5,747)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	79,964	91,174
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	24,707,004	24,683,770

(重要な後発事象)

該当事項はありません。